



地域連携だより

新病院建設工事の進捗状況について

平素より、当院の運営に多大なるご理解とご協力・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。今号では、新病院建設工事の進捗状況についてご報告致します。

2021年6月1日に着工した東大阪病院の新築工事は、2023年秋の開院を目指し、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の災禍の只中にありながらも、地域の先生方、地域住民の皆さまのご理解をいただきながら順調に進んでおります。



2021年6月着工時 もと城東区役所



2021年7月 本庁舎建屋解体

12月現在、旧城東区役所の基礎の撤去、杭抜き工事が終わり、北側マンションとの境界部分の工事に取り掛かっている状況です。いよいよ来年の3月からは新病院建設工事が始まります。



2021年11月 既存杭引き抜き

新しい東大阪病院の機能としては、二次救急医療を中心に、障がい者医療、回復期リハビリテーション、透析、緩和ケアなどの幅広い医療機能を中心に、地域に向けた防災機能の提供を考えています。建物は、地上8階建て、1階は受付や外来診察室のほか、地域連携室や救急処置室などがあります。特に新病院では救急搬送された患者さんが、入り口からMRIやCTなどの検査までスムーズに移動できる最短の動線を確認しています。また、感染症救急にも対応できるように救急入口に陰圧室を設けています。

防災機能としては、大阪市城東区、城東区医師会、城東区薬剤師会と締結している、大規模災害が発生した場合に緊急医療救護体制を速やかに展開できるようにしています。具体的には、十分な階高の確保、垂直避難できる構造にし、被災者を受け入れるために、3階リハビリテーション室、2階大会議室を開放する予定です。8階には備蓄倉庫も設けてあります。加えて、駐車場を災害時に活用できるように、テントの設置を想定した作りにし、散水栓や屋外コンセント、排水ピットを配置しています。そして、災害時も病院機能を維持できるように、非常用発電機など電気系統機器は屋上に設置します。

超高齢化への対応としては、上記救急受入れの体制整備はもちろん、がん医療にも力を入れ、緩和ケア病棟のスペースの拡充、化学療法を実施する環境の整備に取り組みます。

地域に根差した救急病院として、地域の皆さまに信頼され、優しい質の高い医療を提供できる病院を目指して職員一同一層努力してまいりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。



2023年秋開院予定 新病院完成予想図

～ソーシャルワーカーの退院支援について～

医療福祉相談課：篠原 奈緒子

日頃より患者さんのご紹介を頂き、ありがとうございます。



篠原 高井 恒崎 引持 阪本(主任)

今回はソーシャルワーカー（以下MSW）の業務についてお話させていただきます。

私たち、MSWの業務の中でも多数を占めるのは、退院支援となっております。高齢の患者さんの場合の多くは、治療終了後の生活の場をどうするか、検討が必要になります。

下の図は「地域包括ケア」の説明の際に、よく登場する植木鉢ですが、一番下のお皿の部分が本人の意思になっています。患者さん一人一人に自身の植木鉢があり、葉が育ち花も咲きます。

「自分の家に帰りたい」「施設に入って過ごしたい」等、患者さんの思いを汲み取り、必要な支援を行っていきますが、思いを聴きとげること、共感することを大切にしています。

【MSWの活動内容】

患者さんやご家族からの相談の他にも、院内外の方々と関わりながら支援にあたっています。



在宅部との情報共有



院内外研修での講師



ご家族との面談



多職種カンファレンス

(主治医・看護師・栄養士・リハビリ・MSW)



【医療福祉相談課へのお問い合わせ・ご連絡】

- ・受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後5時 ・窓口：1階受付又は病棟詰所にお声掛け下さい。
- ・電話番号：06-6939-1121（医療福祉相談課と伝えていただければ相談員へつながります）